

発行所：大阪府看護連盟
〒536-0014
大阪市城東区鴨野西2丁目5番25号
ナーシングアート大阪
電話 06-6964-5655
FAX 06-6964-5665
E-mail:a-inf@nihonkangorenmei-osaka.jp
発行人：小阪佳代
発行日：平成28年1月25日
印刷所：株式会社ヒラックス

おおさか

No.16-1(通-58)



謹賀新年

第2回近畿
ポリナビラー



大阪府看護連盟会長あいさつ…	2
日本看護連盟会長あいさつ…	3
大阪府看護協会会长あいさつ…	3
国會議員あいさつ…	4~5
看護を考える地方議員の会会長あいさつ…	6
青年部リーダーあいさつ…	6
研修会報告…	6~7
お知らせ…	8





新年のご挨拶



**新年あけまして
おめでとうございます。**

大阪府看護連盟 会長 小阪 佳代



新年あけましておめでとうございます。皆様にはよいお年をお迎えになられたことお喜び申し上げます。会員の皆様には日頃連盟活動にご尽力いただき心から感謝申し上げます。

今年は第24回参議院選挙が行われます。ご承知の通り、選挙権の年齢が18歳に引き下げられた最初の国政選挙となります。

「ベッドサイドから政治を変える」という看護連盟の目標は、会員一人一人が国政に参加する行動を実行することによって達成されます。日本看護連盟は創設以来、日本看護協会の政策実現や看護現場の声を国政に届けるために、看護職の代表を国政に送ってきました。夜間看護手当の大幅アップをはじめ、看護師の特定行為の研修制度が創設され、看護職の卒後臨床研修の努力義務化、保健師助産師の教育期間延長、訪問看護ステーションの基本療養費アップ、診療報酬で1.4：1ランク（7：1）の新設、最新では平成27年10月1日施行の看護師等離職時などにおける都道府県ナースセンターへの届け出規定（努力義務）が創設され、看護の環境改善が実現しました。再び組織力をあげて、私たちの代表として「たかがい恵美子」さんを国政に送りましょう。第一段階は後援会入会者の募集です。後援者30,000人の目標を達成して、最終段階は選挙行動です。看護の未来を創造するためには自ら投票に行くことです。

年頭にあたり、ここに、「必勝」の旗を高らかに掲げます。会員の皆様には、どうぞ、身近な人々にも看護の味方を増やす努力を惜しまずに一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成27年11月現在、大阪府看護連盟会員数は7,984名です。今年こそ、これまで目標としてきた会員10,000名を達成する年にするために、会員の皆様には、是非、一人が一人を紹介する努力を継続してお願いいたします。

昨年、大阪府看護連盟だより第一号を発行しました。会員の皆様に連盟活動を理解していただく方法として広報誌「おおさか」とともに、情報発信をしていきます。

皆様のご健康とご多幸を祈り、今年もよろしくお願ひいたします。





～新年のご挨拶～

日本看護連盟 会長 草間 朋子



新春のお慶び申し上げます。

年頭にあたり、看護連盟の組織力強化に向けて全力投球していく所存であります。会員一人ひとりのみなさまの元気とやる気が連盟の活力の源です。社会を動かすことができる強くて活動的な「看護連盟」を目指してまいりますので、改めて、会員のみなさまの、なお一層の、ご協力よろしくお願いします。

超高齢化を迎えたこれからの日本の「予防し・治し・支える」保健医療を担っていくのは看護職です。私たち看護職の活動を通して、明るく、住みやすい超高齢社会をつくっていこうではありませんか。

看護が、活力ある活動を続けていくためには、看護職の教育環境、就労環境を一つずつ確実に改善していくことが連盟の重要課題であることは言うまでもありませんが、18歳人口が減少し、労働人口が減少する中で、やる気のある優秀な若い人材を看護の領域に如何に引き付けるかということも極めて重要な課題です。「親の背中を見て子は育つ」といわれます。私たち先輩が生き生きと働いている姿を、後輩となる中高生に伝えていこうではありませんか。

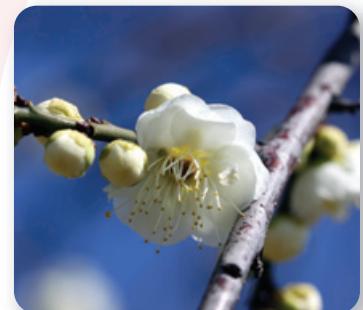
折しも、18歳以上が選挙権を持ち、政治に係る時代になりました。看護が「夢」と「プライド」を持つ専門職であることを、次世代の若者に自信を持って伝えていくためには、まだ改善しなければならないことがあります。看護に関する山積する課題は、自分たちの力、自分たちの組織(連盟)の力で制度化、法制化まで持っていくかなければ課題解決、改革に結びつかないことを、大先輩たちのさまざまな活動等を通してみなさまも認識しておられると思います。

7月には参議院選があります。「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下、「看護が、たかがいが、やりがい、いきがいのある社会をつくる」を旗印に、会員のみなさまの力を結集し、一丸となって、「たかがい恵美子」先生を2期目の参議院議員として国会に送り出し、明るく元気な超高齢社会の構築に向けた看護政策を実現するために、思う存分、羽ばたいていただきましょう。



～祝当選。選挙に行こう！ 投票しよう！～

公益社団法人 大阪府看護協会
会長 伊藤 ヒロコ



明けましておめでとうございます。

今年の干支はサル、漢字では「申」と書きます。「猿」ではありません。私は、申年が猿と全く関係がないことをこの歳になって初めて知りました。日光東照宮の「見ざる・聞かざる・言わざる」の三猿のイメージがあまりに強いためかもしれません、三猿は自分に関係のない物事などについては、いっさい無関心な態度をとる姿をとてもリアルに表現しており、その教えは江戸時代から現代まで延々と伝わっています。

自分に関係のないことだと無関心の筆頭に挙げられるのが政治ではないでしょうか？投票率の低さがそれを証明しています。

たとえば国政選挙の投票率は、20歳代が他世代と比べて圧倒的に低いそうです。若者が投票に行かないのは社会や政治に対する関心が低いためだと言われていますが、それは政治に無関心な多くの大人たちの責任でもあると思います。10年後、20年後の時代を背負う若者たちの未来が明るく輝くよう、私たちも行動しましょう。

今年の看護連盟の最重要課題は7月の参議院総選挙で見事当選を果たすことだと思います。社会から信頼され自立した強い組織になるために、今私たちができるることは「選挙に行こう！ 投票しよう！」と声を上げて、率先垂範して行動することです。

申年は、「伸ばす」という意味があるそうです。背筋を伸ばして、投票率も伸ばして、今年も元気に明るく頑張りましょう!!



～新年のご挨拶～

衆議院議員 あべ 俊子



大阪府看護連盟の皆さんにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

皆さまのおかげをもちまして、昨年は2期にわたり約1年つとめました農林水産副大臣を退任、衆議院議員として4期11年目を迎えることができました。これまでの積み重ねにより、国政での発言力は増しつつあり責任もあります重くなってきております。

激動する国際情勢、厳しい日本経済、医療・看護をとりまく環境ではございますが、日本の将来を見据え、すべての人のが安全かつ安心して生活できる社会保障制度を確立するため、引き続き全力で頑張ってまいる所存です。

そして今年の夏には、高階恵美子先生が2期目を迎えるための参議院選挙が行われます。

看護の4つの議席を絶やすことのないよう、看護界一丸となってこの選挙戦を闘ってまいりましょう。

最後にこの一年が皆さんにとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。



～新年のご挨拶～

参議院議員 高階 恵美子



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

厚生労働大臣政務官在任中は雇用・労働・年金・子育て分野を主務とし、塩崎大臣の下、過重労働の撲滅、がん対策及び認知症対策の見直し、子育て支援の強化などに取り組みました。

また、厚労科研究費に「女性の健康の包括的支援総合研究事業」が創設され、省内に「女性の健康推進室」が新設されました。2015年は、我が国の女性の健康科学が学術・行政面で明確に位置づけられた輝かしい年となりました。さらに政務官検討グループにおいては、「幸齢社会への挑戦‘ハッピープラチナ運動’」を提唱し、必要な施策を来年度予算案に計上しています。

2016年は自民党女性局長として、女性の健康推進、児童虐待防止、防災・復興推進、女性活躍支援、地域が生きる観光振興、国際保健協力強化、女性と児童の権利擁護の7つの政策課題を掲げ、取り組む所存です。

看護系議員であることを誇りに、みなさまと心をひとつに活動して参ります。



～年頭のご挨拶～

参議院議員 石田 昌宏



大阪府看護連盟の皆様 明けましておめでとうございます。

平成28年が皆様にとって、輝かしい素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

旧年中は、暖かいご支援を賜りましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、実践的な理解力、高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる「特定行為研修制度」の運用がいよいよ始まりました。責任の重さとともに、看護に対する国民の期待をひしひしと感じる歴史的な前進です。さらに、看護職とナースセンターが離職後も“つながり”を持ち継続的なキャリア支援や迅速な復職支援を可能にする、「看護師免許等の届出制度」もスタートしました。制度の開始により離職の防止も期待されます。

今年も看護の現場に足を運び、国政に伝える努力をしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

看護職の代表として活躍しているたかがい恵美子議員とともに、看護連盟の政策を実現すべく、看護連盟の皆様と全力で頑張ってまいります。



～新年あけまして おめでとうございます～

衆議院議員 木村 やよい



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。4人目の看護職議員として初当選を果たしてから、早いもので1年が過ぎました。

ここまで駆け抜けて来られましたのも、先輩議員の皆さま方にお育ていただいたからです。たかがい恵美子厚生労働大臣政務官(当時)は、厚労委員会の質問前で緊張している私にアドバイスをくださいました。あべ俊子議員は被災地訪問、石田昌宏議員は少年院や女子刑務所の視察同行にお声掛けくださいました。ご期待にそえるよう頑張ります。

第三次安倍内閣が打ち出した「一億総活躍社会」の基本方針には、現役世代が介護を理由に離職することのない社会づくりを進め、生涯現役社会を構築することなどが明記されました。看護職が生き生きと仕事を続けられるような仕組みづくりが加速しています。「働き続けられる職場づくり」などの看護政策実現とともに、日本に生まれたすべての子供たちが健やかに成長していく社会づくりを目指します。本年もよろしくお願い申し上げます。



～年頭のご挨拶～

看護を考える地方議員の会 会長
羽曳野市議会議員 松村 尚子



大阪府看護連盟の皆さんには新しい年のはじまりを健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

平素は、私たち「看護を考える地方議員の会」の活動各般にわたりご高配を賜っておりますことに、誌上からではございますが心より御礼を申し上げます。

さて、今年の干支は十干十二支で申しますと「丙申(ひのえさる)」。その謂われは、諸々の課題や問題が明らかとなることによって物事が進歩発展し成熟に至るということだそうです。

私たちにとっての課題は、地域が抱える看護・医療・福祉の諸問題を克服し発展させることに他なりません。そのためには、今夏に行われる参議院選挙において看護界の代表である高階恵美子参議院議員に再選を果たしていただき、引き続き国政の場でご活躍願うことが私たちに課せられた大命題と言っても過言ではありません。

幸い私どもはこれまでの活動を通じ、来るべき7月に向けての組織体制は着実に整いつつあります。是非、看護連盟の皆さんと共に国民一人ひとりが楽しく・豊かに・堂々と暮らせる社会を実現させるために邁進することをお誓い申し上げますので、なお一層の力強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、本年が明るく希望に満ちた一年となりますよう、そして貴連盟のご隆盛と会員皆様の益々のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

大阪青年部リーダー 日高 浩昭



大阪府看護連盟青年部では順調に出前研修を行い、看護連盟の必要性を伝えてきました。

また、昨年は新しい企画で研修を交えた交流会を行い、楽しく、連盟についての理解を深める場となりました。看護協会と看護連盟の違いについてご存知のことと思いますが、改めて申し上げますと、看護協会は質の高い看護の提供=「看護を創る」、看護連盟は政治的手段によって現場の問題を解決する団体=「看護を支える」なのです。看護連盟はとても重要な役割を担っています。

私達の声を国政に届け、明るい未来を共に創っていきましょう。

研 修 会 報 告

平成27年度 リーダーセミナー1プログラム 平成27年9月26日(土)

テーマ「看護協会と看護連盟の連携」

講師:日本看護協会 会長 坂本 すが 先生



～連携の重要性を現場のスタッフへ～

大阪府済生会中津病院 山口 真紀

今回の研修は、看護協会と看護連盟の役割と活動を理解し、組織拡大への活動をするための講演でした。講師は日本看護協会会长の坂本すが先生で、ご講演の内容を楽しみに参加しました。坂本先生は御自身の経験の中で印象に残ったスタッフとのかかわりを通して、「看護はその人の生き方・生活を支えること」であるという、看護の素晴らしさをお話し下さいました。その看護を支えていくためには看護協会だけではなく、看護連盟の活動が必要であるという坂本先生の思いも伝わりました。

しかし連盟の加入率は現在も低迷しており、ワークショップ後の発表の中でも連盟活動を十分に看護職が理解していない現状があるという多くの声が上がりました。それに対して坂本先生は、まず看護協会と看護連盟が協力し合い、本部から活動のPRをし、多くの看護協会の人達に発信する必要があると強調していました。

この研修を終えて、看護の素晴らしさと看護連盟の活動について再認識することができました。私はそのことをそばにいる現場スタッフに伝えていくことからはじめようと思います。

研修会報告

第2回近畿ブロック看護管理者等政策セミナー

平成27年10月3日(土)~4日(日)

近畿ブロック協議会として活動を開始し2年目になります。近畿2府4県で知恵を出し合い、互いに協力しながら2回目のセミナーを終えました。今年度は大阪が担当でした。

10月3日(土)午後から4日(日)夕方までの宿泊研修でした。内容はプログラムを参照ください。44名の出席があり、大阪は12名でした。

「政策セミナーの内容として具体的で分かりやすかった。交流会やグループワークを通して出席者間の情報交換が出来今後の活動に役立てられる」等、とても満足・満足が95%と満足度の高い研修でした。



第1日目 10/3(土)

13:45	開講挨拶 近畿ブロック協議会 西城 会長
14:00	講義とグループワーク 講師:大阪府連事務局長 稻垣 克彦 先生 テーマ:選挙について 知ろう・語ろう 講師紹介:小阪 会長
15:20	グループワークと発表 ～各府県得票数獲得の工夫～
16:00	発表・まとめ
17:00	交流会

第2日目 10/4(日)

9:30	講演 講師:衆議院議員(兵庫6区) 大串 正樹 議員 テーマ:国会と看護政策 講師紹介:去来川 会長
10:40	講演 草間 朋子 会長 テーマ:看護管理者に期待するもの
13:00	講義とグループワーク 講師:大島 敏子 先生 テーマ:看護と政策
14:50	グループワーク テーマ:18歳選挙権にどう取り込むか
15:30	発表・まとめ
16:00	終了 閉会挨拶 近畿ブロック協議会 小阪 副会長

大阪府看護連盟研修「リーダーセミナー2」

平成27年12月12日(土)

～リーダーセミナー2 プログラムに参加して～

ベルピアノ病院 角本 貴子



今回の研修では、看護連盟の役割を理解し、組織拡大に向けて活動できる事を目標に、草間朋子会長の講演の後、「組織拡大のために私たちにできること」をテーマにグループワークで意見交換を行いました。グループ内で多かった意見としては、まず看護連盟の活動を身近に感じることが少ない。また、若い世代の方々に対して、会員としての活動のメリットは何かを伝える事が出来ていない等が上がりしました。まず活動として、「ベットサイドから政治を変える」のスローガンを実践していく為には、看護職から現場の声をあげること。またその声を言語化しデーターで示していくことが求められています。

現場の課題を看護政策へ、閣議決定・国会提出まで問題をあげていかなければ変わらない。それらの活動を支えて行く為には、一人でも多くの会員の力が必要であり、活動していく仲間が必要だと痛感しました。現在の看護連盟会員数は大阪府看護協会員総数5万人の16%足らずの約8000人である現状であり、今後組織拡大のために私たちにできることとして、これまでの活動で実現できた活動をできるだけ身近な人たちに伝えていく機会を持ち、一人でも多くの看護連盟会員を増やしていきたいと思います。

～看護を考える地方議員との 合同研修会に参加して～



大阪医科大学附属病院 井上 和泉

看護を考える地方議員との合同研修会 平成27年12月19日(土)

今回の研修では地方議員の先生方と直接お話しできる貴重な経験をさせていただきました。議員の先生方と直接お話しさせていただいたことで国会へ代表者を送ることが看護・介護職の待遇向上のためにとって大切なのだと改めて感じました。また、グループワークの中で代表者がどのように働きかけ、何が変化したのかをわかりやすく伝えることで代表者を国会へ送ることの必要性を各々が認識できるのではないかと話し合い、そのことを現場に戻って伝えられるようにしたいと思いました。この度はこのような場に参加させていただきありがとうございました。



お 知 ら せ



新 年 互 礼 会

おおくのご来賓の先生方をお招きして、今年も盛大におこなわれました。



第一部 講演会 テーマ「国政報告」講師 高階 恵美子 先生

第二部 懇親会 来賓紹介と挨拶

日本看護連盟会長

国会議員

代表者挨拶 衆議院議員 中山 泰秀 大阪府会長様
参議院議員様

看護を考える地方議員の紹介

代表者挨拶 会長 松村 尚子 様

他来賓紹介

代表者挨拶 大阪府看護協会会长 伊藤 ヒロコ 様



平成27年度 自民党優秀党員表彰者



江口 博美 大阪府医科大学附属病院
田中 美代子 独立行政法人 地域医療機能推進機構
大阪みなど中央病院
山口 友子 松下記念病院

平成27年度 秋の叙勲



渡邊 稔
時本 容子
濱野 由美子
矢田 みゆき
前豊中市議会議員 前看護を考える地方議員
医療法人 錦秀会 阪和第二泉北病院 看護部長
大阪府済生会 富田林病院 看護部長
医療法人 松尾クリニック

編 集 後 記



みなさま、新年あめでとうございます。今年は第24回参議院選挙が行われます。看護職の高階恵美子先生、比例代表としてトップ当選できるよう頑張りましょう。そのためには「選挙に行こう」「期日前投票を必ずしましょう」を合言葉に結束して活動を展開します。よろしくお願ひいたします。

Y.Y

看護の夢を実現させるのはあなたです！

現場の声を国政に反映させましょう

日本看護連盟
5,000円

年会費 8,000円

賛助会員 1,000円
学生会員 無料

大阪府
看護連盟
3,000円



平成28年度の会員入会を受け付けております

平成28年度目標会員数 10,000名



時代に、あなたに、
ちゃんと応える医療保険です。

NEW
**ちゃんと応える
医療保険**
EVER

日帰り入院でも
一律5日分保障

※一定期間内に再入院した場合の入院給付金の
お支払いについてはパンフレット(契約概要)をご確認ください。

入院前後の
通院も保障。

女性特有の病気で
入院した場合
上乗せして保障。

(レディース EVER の場合)

商品の詳細はパンフレット(契約概要)をご覧ください。

■募集代理店

株式会社トータル保険サービス
大阪支社

〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目5-17(堂島グランドビル7F)

TEL.0120-06-5901

■引受保険会社

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)
近畿法人営業部

〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビル6F

Tel.06-6206-3607 Fax.06-6312-9963

AF020-2013-0818 11月21日(151121)

東洋羽毛の コーヒーサービス 無料!!

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

F
フリーコール

0120-88-2104

お気軽にご利用ください。



東洋羽毛関西販売株式会社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12